

本の扉

12月号
2024. 12. 23

前橋東高校 図書委員会
1年2組

明日で2学期が終わり、いよいよ冬休み。クリスマスも楽しみですね!そして、2024年も残りわずかです。皆さんにとって今年はどうな1年でしたか?今年も残り数日となりましたが、お家で温まりながら、本を読んで楽しみましょう!



『ハケンアニメ!』

(著者:辻村深月 / 出版社:マガジンハウス)

ここは、アニメ制作会社スタジオえっじ。これから放送するアニメ「運命戦線リデルライト」のプロデューサー有科香屋子。ある日、監督である王子千春が失踪してしまう。どうにかして王子を説得してアニメを完成させようと、香屋子は日々奮闘していく。そんなアニメを愛する人々の情熱と想いが詰まったストーリーです!



『僕が愛したすべての君へ』

(著者:乙野四方字 / 出版社:早川書房)

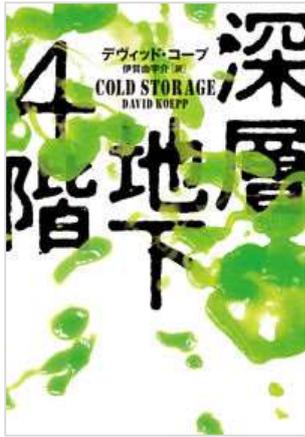
並行世界がいくつも存在する世界。両親が離婚し、母親と二人暮らしとなった高崎暦。彼は進学校に入学する。その高校であるきっかけにより滝川和音と出会う。彼女は85番目の並行世界からきた和音だった。その出会いにより2人の物語が動き出す。この本はもう一つの物語である「君を愛した一人の僕へ」を読むことで結末も変わってきます!

『わたしの美しい庭』

(著者:凧良ゆう / 出版社:ポプラ社)

屋上に縁切り神社があるアパート。そこに住む様々な悩みを抱えている人々の話。過去や人からの言葉など色々なものに縛られる。しかし、それをわかってくれる人がいる、聞いてくれる人がいる。凧良ゆうさんが書く、人生の美しさ、苦しさが描かれたストーリー。





『深層地下4階』

(著:デヴィッド・コープ 訳:伊賀由宇介 / 出版社:ハーパーBOOKS)

数十年前、ある街を壊滅させた特殊な真菌が封印された「深層地下4階」。時は現代、前科持ちのティーケイクとガール・フレンドのナオミは、勤務先の倉庫で妙な音を聞く…。「ジュラシック・パーク」、「ミッション・イン・ポッシブル」の脚本が送るバイオハザード・スリラーです。

私が読んだ中で最も面白かったスリラー。話の展開自体には緊迫感がありますが、所々コミカルな比喩があるので愉快地読めます。超オススメ！

『マルクス・アウレリウス「自省録」のローマ帝国』

(著:南川高志 / 出版社:岩波新書)

「哲人皇帝」として知られる古代ローマ帝国の皇帝、マルクス・アウレリウス。戦争と疫病の時代を統治した彼の著書、「自省録」から賢帝であった彼の実像に迫る。

個人的に読んだ哲学書の中だとかなりわかり易く、初心者向けのものだと思います。カントやニーチェなどの比較的近代の作品も面白くはありますが、たまには古代の作品に立ち返り、西欧哲学の源流を体感することで哲学の根本的な面白さを味わえます。



図書館の貸し出し状況(4/1~12/12)をお知らせします!

	1組	2組	3組	4組	5組	6組	計	職員
1年	512	52	125	36	152	-	877	333
2年	90	65	76	34	29	-	294	
3年	208	111	159	75	30	164	747	
						合計	1,918	2,251

🍎 図書委員会より

*冬休み特別貸出がスタートしています!!貸出冊数制限なし、返却は3学期の始業式です。

***2年生の「LHRビブリオバトル」は2025年1月8日(水)6限**です!

冬休みのうちにどんな本がいいか考えておいてください😊

